

コミュニケーション・リンク株式会社 Yamamoto Kenkichi
 代表取締役専務 **山本 健吉**

東北リース株式会社 Kanno Hiroaki
 代表取締役会長CEO **菅野 浩昭**

高所作業車をはじめとした建設機械のレンタル会社「コミュニケーション・リンク」(本社・仙台市)。レンタル協会宮城支部長を務める同社の山本専務と、宮城の地場レンタル会社・東北リースの菅野会長が、今後の展望について語り合った。



菅野 本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。御社は、地場のレンタル会社では高所作業車の先駆けですね。足場を組んでの工事が主流の時代に取り扱いを始めていたこともあり、高所作業車の専門店という印象を抱いています。

山本 弊社はサケやヒラメなどの輸入が始まりで1988年に設立されました。創業者である父がもともと建設機械のメーカーに勤めていたこともあり、現在は高所作業車のレンタルとレンタカーの2本柱で事業をしています。

菅野 同じリース業でも弊社は土木建設機械を中心に扱っていますので、すみ分けができています。地場のレンタル会社で重要なことは競争ではなく、「専門性の高い会社から借りれば間違いない機械がきます。安心して現場に出せますよ」といえる仕事をするのだと感じています。

山本 メーカーが建機を新しく発売する際、地元のレンタル会社には、大手の企業に販売する前の段階で商品を入れてくれます。例えば、株タダノから94年に発売されたスーパードッキというステーションの高所作業車や、最近では最大地上高が32メートルのバケット式高所作業車などといった大きな建機ですね。そのような意味では、常に新しい機械が一番に入ってくる仕組みになっていますので、お客さまの要望に100%応えられる、現場に合った機種を提案できるところは強みです。

**協会のために
なるような活動を**

菅野 2024年の5月に日本建設機械レンタル協会の宮城支部長に就任されましたが、抱負などを。

山本 これまでの文化を継承しつつ、時代に合った形のものにしていければと思っています。



株タダノのバケット式高所作業車、スカイボーイ(トラック式) AT-320XTG

ます。一つ一つのイベントや行事の開催に当たり、本当に正会員、賛助会員のためになっているのか、もつと還元できることはないのか、原点に立ち返って考えています。引き継ぐことにプラスして、自分自身で気が付いた点があれば改善していきたいですね。

菅野 協会には地場の企業も大手の企業も入会しています。宮城支部としてまとめていくことは大変だと思いますが、すでにいろいろな会社と

協力しているようで、これからは楽しみに感じています。

山本 具体的にいえば、本年度は分科会活動が特に活発です。会社ごとに得意な分野があり、ハウス、重機、舗装、汎用機などそれぞれ違いますので、代表や拠点長のような方々が集まり、情報交換や技術の共有をする場として分科会というものがありません。菅野さんが支部長をされていた時にできたものでしたね。

信頼される

業界を目指して

菅野 協会員は勉強会もしているのですが、この会社の建機も安



㈱タダノのステージ式高所作業車(スーパーデッキ)、AT-200S

山本 建機レンタル業界の市場規模は伸びる余地があると予測されています。分科会には大手企業も含め若い方も参加しますし、将来ま

心して借りることができる、そのようなイメージになればと思います。建機レンタルの依存度は現在、6割ほどといわれていますが、借りた方がいいという認識をつくっていきたくですね。そのためには、きちんと整備された機械である必要があります。安全に使ってもらうための説明責任もありますし、貸すということを広めるためには、業界全体の努力が不可欠です。そのため分科会で技術や知識を磨いていくのだと思いますし、地盤を皆さんでつくり、一つの大きな集団として盛り上げていきたいですね。

まだまだ成長する可能性があるのは業界の魅力の一つです。
菅野 駐車場、機械を置く場所、点検する人、全てそろわなくては貸す仕事はできません。今あるものに磨きをかけて、地道にきちんと仕事をすることで「借りるならあの会社にしよう」「あの機械なら間違いなし」という認識になつていくと思います。そのような積み重ねで利用頻度を高めていくことが、レンタル業界の地位向上につながるのではないのでしょうか。
山本 そうですね。社業としても、やみくもに拡大するのではなく、強みを生かし、信用してもらええる仕事をしていきたいです。
菅野 建設業界のパートナーとして、これまで通り信頼される業界を目指していきましょう。本日はどうもありがとうございました。



■かんの ひろあき
1994年8月東北リース代表取締役、2019年7月同社代表取締役会長就任。日本建設機械レンタル企業年金基金理事長、宮城県レンタカー協会副会長、建設車両委員長、宮城県建設機械レンタル協会相談役、元支部長

■やまもと けんきち
18歳から自身の父が創業したコミュニケーション・リンクでレンタル業に身を置き、2020年代表取締役専務に。日本建設機械レンタル協会宮城支部では12年から専務理事兼副会長を12年間務めた。24年5月より支部長に就任